



浜松ハーモニーロータリークラブ週報

No.1208 2025.05.07 (水)

2024~25年度 RI 会長 ステファニー A アーチック
RID2620 ガバナー 小泉 久司 (甲府西ロータリークラブ)

Hamamatsu
Harmony RC
Weekly
Bulletin

会長挨拶

影山忠弘

皆様、こんばんは。本日は例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。5月は「青少年奉仕月間」です。青少奉仕の取り組みは多岐にわたり、各クラブでもさまざまな活動が行われています。当クラブにおいては、ムンド事業がその一つに該当いたします。また、次年度には「子ども食堂事業」の実施が決定しており、青少年支援のさらなる推進が期待されます。本日の例会では、社会福祉協議会の小林様、ソーシャルワーカーの長坂様をお迎えし、「貧困世帯の子どもたちの現状」について卓話をいただきます。

日本では、子ども7人に1人が相対的貧困状態にあると言われており、これは社会の将来に大きな影響を及ぼす重要な課題です。加えて、「貧困の見えにくさ」が、この問題をさらに複雑にしているとも感じています。

現在、公的支援だけでは十分とは言えない状況にある中で、私たち一人ひとりの関心や地域社会の連携が、ますます重要になってきています。現状を正しく知ることが、今後の新たなアプローチやアイデアのきっかけになるのではないかと期待しています。次年度の子ども食堂事業に向け、本日の卓話を通じて多くの気づきや学びを得ていただければ幸いです。それでは、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

ゲスト

小林 茂様 (芳川地区社協)
長坂聖子様 (スクール ソーシャルワーカー)

幹事報告

配布物；ロータリーの友5月号
次週例会後、現次年度理事会と
サントシュ歓迎会があります。



スマイル

酒井裕之 (まことに個人的なことで 申し訳ございません。
娘が4回目にして、国家試験に合格しました。ありがとうございます)

プログラム 「貧困世帯の子供たちの現状について」



スクールソーシャルワーカーとは、困りごとを抱えている子どもと家族を支えるための福祉の専門職です。

ちなみにスクールカウンセラーは心理の専門職です。

浜松には現在21名のワーカーがいて、一人平均7校の小中学校を定期訪問しています。また、県立高校の定時制や、通信制高校、私立高校も兼務するワーカーもおります。

学校で出会う心配な生徒の背景には、家庭環境の課題(虐待、経済困難、保護者の疾患、ひとり親、ステップファミリー、放任、過干渉、ヤングケアラー等の不適切養育)及び本人の発達や健康問題の課題(発達障害、知的障害、ゲーム依存やネット依存、うつや不安症等)があります。

ワーカーとして「こどもの最善の利益」をめざし、必要に応じて、面接や、家庭訪問、同行支援といった直接支援や、関係機関との連携、保護児童地域対策協議会への出席等の間接支援を通じ、つなぐ、つながる支援を続けていきたいと思っています。



浜松ハーモニーロータリークラブ

〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1 グランドホテル浜松内

Tel: 053-413-1782 Fax: 053-413-1781 e-mail: hhrc@plum.ocn.ne.jp